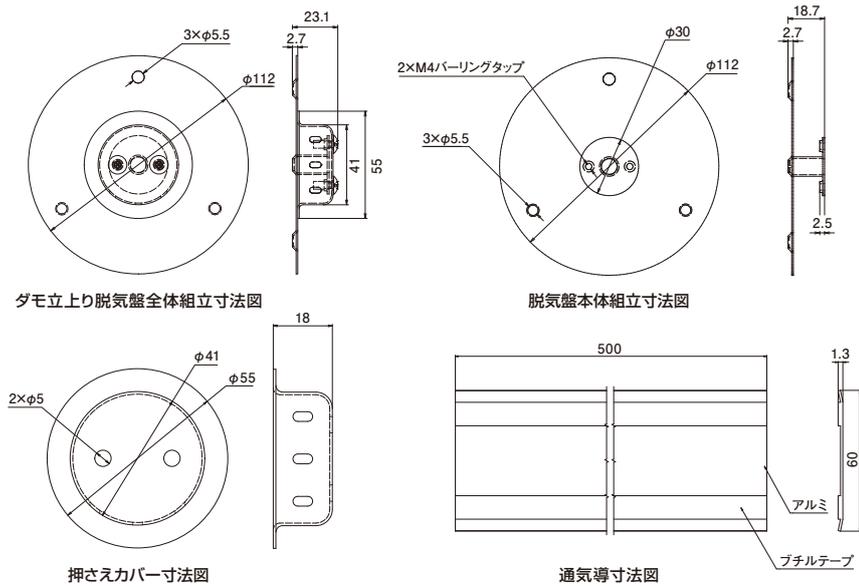


ダモ立上り脱気盤取扱説明書

寸法図 (単位: mm)



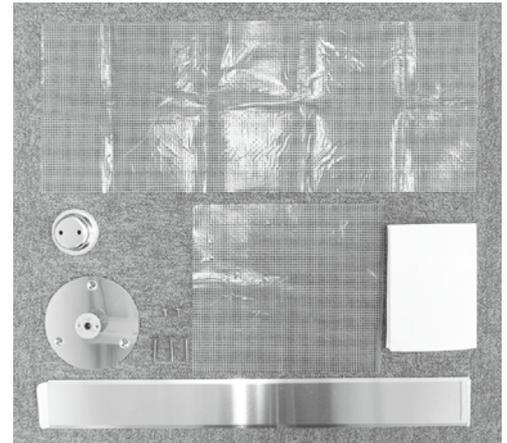
ダモ立上り脱気盤全体組立寸法図

脱気盤本体組立寸法図

押さえカバー寸法図

通気導寸法図

商品内容



- 付属品 (1セットにつき) ・脱気盤本体1枚 ・押さえカバー1枚 ・通気導1枚 (60×500mm) ・プラグレスアンカー3本 ・押さえカバー固定用ビス2本 ・本体用補強クロステープ1枚 (200×220mm) ・通気導用補強クロステープ1枚 (200×500mm) ・取扱説明書1枚
- 荷姿 ダモ立上り脱気盤 5セット入り/ケース

ウレタン防水施工例

※下記の施工手順は一例になりますので実際の施工方法は各防水メーカーの仕様に準じてください。

- 1 プラグレスアンカー下穴(φ3.4mm)

脱気盤の取り付け位置に合わせてプラグレスアンカー下穴(φ3.4mm)を開ける。(脱気盤設置の向きは本体矢印の向きに合わせてください)通気導を折り曲げ裏面離型紙を剥がし、通気導先端を脱気盤本体中央部に合わせて貼り付ける。長さが合わない場合はハサミ等でカットしてください。
- 2 プラグレスアンカー

脱気盤本体を下穴に合わせてプラグレスアンカーで固定する。
- 3 本体用補強クロステープ

切り込み 30mm 程度

脱気口部分に本体用補強クロステープがかぶらないよう中心部に切り込みを入れ、離型紙を剥がして脱気盤本体に貼り付ける。
- 4 離型紙を剥がして通気導用補強クロステープを通気導に貼り付ける。平場部通気導の端末部は通気口確保のため塞がないようにする。
- 5 脱気盤本体脱気口と通気導端末部を養生する。立上り脱気盤本体と通気導の端末部をシーリング材を用いてゴムペラ等で段差を平滑にする。
- 6 通気導端末部の養生をはがし、現場仕様に基づき平場に通気緩衝シートを貼り付ける。通気緩衝シートと通気導の重ね幅は100mm程度とする。
- 7 現場仕様に基づきウレタン防水を施工する。
- 8 ※押さえカバーは通気口が下向きになるように設置する

脱気口部分の養生テープをはがし、押さえカバーを固定用ビスで脱気盤本体に固定して施工完了。

通気導を延長される場合

通気導を延長される場合は別売りの延長通気導をお買い求め頂き、付属のジョイントテープで通気導同士を接続してください。ジョイントテープで接続後は補強クロステープとシーリング材で段差を補強し、通常通り施工してください。

⚠ 注意 ケガを防ぐため脱気盤を取り扱う際には必ず手袋等を着用して下さい。



株式会社 山装

〒236-0004 横浜市金沢区福浦2-18-17
TEL:045-781-7821 FAX:045-781-7824